



## 4回目のワクチン接種を実施しています

市は、4回目のワクチン接種を行っています。対象者（60歳以上で3回目接種から5カ月を経過した方）には、順次接種券などをお送りしています。高い重症化予防効果が得られると言われて



新型コロナウイルス Q&A ▲  
(厚生労働省ホームページ)

**！ 18～59歳の基礎疾患がある方で、接種を希望される場合は、申し込みが必要です**

接種を希望される方は、広報かしわざき6月号と一緒にお配りした申請書を提出いただくか、市ホームページからお申し込みください。

※9月末でワクチン接種は終了します。  
希望される方は、お早めに接種をご検討ください。



## 相談・受診方法 **！** 受診前に電話で相談を

症状あり	かかりつけ医に電話で相談 ↓ かかりつけ医がない、 相談先が分からない場合は 県新型コロナ受診・相談センター TEL025-385-7634 TEL025-385-7541 TEL025-256-8275	毎日 24時間対応
	県新型コロナウイルス 感染症コールセンター TEL025-282-1754 (8:30～17:00、祝日を除く月～金曜)	
症状なし		

## 地域の 自慢づくり大賞



### 地域を支える食

市民活動支援課 TEL21-2272 FAX22-5904

### 西中通地区の 刈羽節成きゅうり



刈羽節成きゅうりは、西中通地区でしか栽培されていない希少な野菜です。一度は栽培が途絶えましたが、保存されている種があったことが分かり、地元農家で栽培が続けられています。

地元の小学生も一緒に、栽培・調理に取り組んでいます。

刈羽節成きゅうりは、歯切れがよく、独特の苦みがあることが特徴で、漬物に適しています。「にしなか菜々彩工房」では、刈羽節成きゅうりの漬物を全て手作業で作って販売しています。

### 荒浜地区のイワシ

元禄の頃から荒浜地区で行われていたイワシ漁業は、村人総出での地曳き網漁で、主要産業であった漁網作りと併せて、人々の生活を



支えていました。海の恵みや美しい砂浜、漁業に関心を持ってもらいたいという思いから始まった「荒浜いわしまつり」は、地元の漁師とコミュニティが協力して開催

しています。荒浜地区の伝統料理は、新鮮ないわしを酢に浸し、ねぎや大根おろし、酢みそと和えて作る「いわしのぬた」。元気の源として、愛され続けています。

### 南鯖石地区のおいな汁

昔から南鯖石地区で栽培されている里芋（土垂れ芋）を手軽に食べてもらえるように作られたのが「おいな汁」。しょうゆ味をベースに、地域で栽培された新鮮な野菜がたっぷり入っています。南鯖石地区の里芋は独特な粘りがあり、ホクホク感が強いと言われています。地元の小学生が里芋を栽培し、中学生がおいな汁の作り方を学習するなど、子どもたちも一緒においな汁の歴史をつないでいます。



次号のテーマは「まぢめぐり」です。お楽しみに。/



市HP



公式SNS

発行／柏崎市 編集／元気発信課  
〒945-8511 新潟県柏崎市日石町2-1  
0257-8511 (代表) FAX0257-247714 (代表)